

深尾 光洋 様

御発言配付資料

〔発言テーマ〕

人口、技術の将来像から考えるまちづくり

2017.8.22 (仮称) 岐阜市未来ビジョン 第2回有識者会議
武蔵野大学教授、慶應義塾大学名誉教授 深尾光洋発表資料

人口、技術の将来像から考えるまちづくり

●まちづくりを考える上では、将来の人口、経済、自然環境、技術の変化を織り込む必要がある

1. 少子化高齢化による人口構成の変化と介護コストの高騰を織り込む必要

移動や入浴などの介護は当面ロボットには無理なのは

介護保険の自己負担率の大幅引き上げが不可避なのは

医療・介護人手不足にどう対応するのか

相当大幅な待遇改善が必要 (優良製造業のキャリア並みの水準)

日本語能力の高い移民 (労働力ではない) の積極的な受け入れを検討すべきでは

自治体が日本語学校への就学と就労をセットで提供してはどうか

日本語学校→日本語能力試験→就労→帰化ないしグリーンカード付与

(後者は現在困難)

学校、託児所、介護については、比較的健康的な高齢者をもっと活用してはどうか

パートによる育児、介護スタッフの補助、学校のクラブ活動の指導など

事故のリスクは基礎的なトレーニングと損害保険でカバーしてはどうか

2. 交通・通信技術の変化を生かした都市計画

バス・タクシー過疎地をどう解消するのか

岐阜市も中心部を外れるとバス便は極端に少ない

10年程度で技術的にはタクシー、バスは大幅に安くできるはず

ライドシェア、自動運転タクシー、電気自動車

技術の変化により交通、流通は大きな変革期を迎えている

ライドシェア、自動運転、ネット通販で運輸、小売部門の必要人員は大幅に低下

郊外の移動のためにタクシー過疎地にライドシェアを積極的に導入すべき

乗り合いバスの不便さを解消できる可能性

まちづくりにおいて、将来の交通体系をどのように織り込むのか

ライドシェア、自転車のシェア、オンデマンドバスを整備するのが良いのか

巨大な駐車場を整備すべきなのか

以上